大山青年の家管理棟蒸気配管改修工事

r		
図面番号	図 面 名 称	縮尺
M-01	表紙、図面リスト	
M-02	機械設備工事特記仕様書(1)	
M-03	機械設備工事特記仕様書(2)	
M-04	配置図、附近見取図、概略工事工程表	1/1200
M-05	暖房設備 改修後 管理棟1階平面図(1)	1/100
M-06	暖房設備 改修後 管理棟1階平面図(2)	1/100
M-07	暖房設備 改修後 管理棟2階平面図	1/100,50
M-08	建築工事 改修後 管理棟平面図	1/100
M-09	電灯・拡声・火災報知設備 管理棟1階平面図	1/100
M-10	電灯設備 管理棟2階平面図	1/100,50
M-11	暖房設備 撤去 管理棟1階平面図(1)	1/100
M-12	暖房設備 撤去 管理棟1階平面図(2)	1/100
M-13	暖房設備 撤去 管理棟2階平面図	1/100

 縮
 尺
 管理建築士
 査
 図
 担

 /
 /
 /
 /
 /
 /
 /



当	作図	作図		[,] 株式会社 ティビィエム (ティビィエム環境設備設計事務所)	年月	2023.01	頁 01
細	細		 TECHNICAL BUILDING MAINTENANCE	鳥 取 県 米 子 市 目 久 美 町 3 4 番 地 2 鳥 取県知事登録 第 0 3 - 8 8 8 号 一級建築士事務所	57 - 22		
$ \mathbf{N} $			管理建築士	一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優		M — 0 I	2 全

機械設備工事特記仕様書

I. エ 事 概 要

西伯郡大山町赤松明間 1 工事場所

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階 数	建築基準法による 延べ面積(m ²)	消防法施	行令別表第一の区分	備	考
1	管理棟	RC造	2	998.10	()項		
2					()項		
3					()項		
4					()項		
5					()項		

3 工事種目 () 印の付いたものが対象工事種目)

番 号 工事種目	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空気調和設備							
● 冷暖房設備	0						
● 換気設備							
● 排煙設備							
● 自動制御設備							
● 衛生器具設備							
● 給水設備							
● 排水設備							
● 給湯設備							
● ガス設備							
● 浄化槽設備							
● 消火設備							
 ● さく井設備 							
 電気設備工事 	0						
● 建築工事	0						

⁴ 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。) ● 印の付いたものを適用する。

	項目 ● ● 空気調和設備		
	● 空気調和設備	 ● 単一ダクト方式 	
70	● 冷暖房設備	• ファンコイルユニ	ニット方式 ● パッケージ方式
空気調和	● 暖房設備	● 温水暖房 ●	蒸気暖房 ● 温風暖房(● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
· ·	● 熱源	 ● 電気 ● 灯油 	由 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
冷暖房設備	● 主要熱源機器	 チリングユニット 直だき吸収式冷温 バイオマスボイラ 	
		● 温風暖房機	● FF暖房機 ● その他 ()
Ħ	奥気設備	● 第一種 ● 第	9.二種 ● 第三種
拍	非煙設備	● 機械排煙(適用	目法規 ● 建基法 ● 消防法)
É	自動制御設備	 ● 電気式 ● 電 	言子式 ● デジタル式
	● 給水設備	給水方式 水源	 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 ● 水道水 ● 井水
			 ● 自然流下 ● ポンプ排水(● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水)
		19F71(7) X	
			汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
	● 排水設備	│ 放 流 先	雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽
徸			雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川
衛生設備		净化槽	処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
VH	● 給湯設備	● 局所式 (● ガス	(● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
	● 消火設備		 ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水管 ・ 連結散水 ・ 泡消火 ・ 粉末消火装置
		 不活性ガス消火 	(● 窒素 ● 窒素系 ●) ● ハロゲン化物消火
	 ● ガス設備		MJ/Nm3) ● 液化石油ガス

Ⅱ. 特 記 仕 様 1 一 般 事 項 (1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて 🖲 • 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) ● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) (2)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和元年版)」(以 (3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞ 2 特 記 事 項 (1)項目は番号に 〇 印の付いたものを適用する。 (2)特記事項のうち選択する事項は 💿 印の付いたものを適用する。 ● 印の付かない場合は、 ※ 印の付いたものを適用する。 ● 印と ⊗ 印の付いた (3) 一般共通事項のうち (1、2、7、8、11、12、13、14、34、35、37 項 目 特 記 1 官公署その他への手続 工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査 2 電気保安技術者 工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工 の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作 資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2による: 用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 3 発生材の処理等 引渡しを要するもの 🛛 ※ 無し ● 有り (特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 配管用保温材 アスベスト含有設備資機材(カ 従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※ 無し ● 有り(● コンクリート塊 ● 建設発生木材 4 機材等 イ)本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するも ロ) (一社) 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材 価書の写しを監督職員に提出するものとする。 JISマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様 ⑤ 機材の品質・性能証明 することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、 6 機材の承諾図 機械設備工事機材承諾図様式集(令和元年版)によるほれ ⑦ 施工図等 提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用 ⑧ 完成写真等 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガ 監督職員の指示による。下記のものを提出する。 撮影箇所 区分 分類・規格 工事写真 カラーサービス判 各工種工程毎 完成写真 カラーサービス判 監督職員の指示に 9 完成図等 次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 区 分 完成図 ● 原約 ※ 完成図原図 施工図 • 原約 🛞 完成図 ⊗ 完成図(縮小月 ※ 完成図 2つ折製本 ◉ 施工図 ※ 完成図書 完成図(縮小) 🛞 主要機器図 ※ A4版市販ファイル 🛞 試験成績書 A 4 版黒表紙製本 ※ 保守に関する ※ 保守用説明書 ※ 機器取扱説明 (A4版ファイル) ※ 主要機器一覧 ※ 保証書 ※ 官公署の届出書類 ● 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・ 1 技能士の適用 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1 エ品質の向上を図るための作業指導を行う。また、その² 着用する。 配管 (• 1級 🧿 2級) ● 冷凍空気調和機器施工 (● 1級 ● 2級) 《技能士名札参考図》 · 技能士 職 種 配管 作業名 建築配管作業 級別 1級 ß 氏 名 〇山〇夫 ഥ 勤務先 〇〇工務店

管理建築士 査 図

赤井

写真 (30×40程度)

縮 尺

般

共

通

事

項

					-	11 他工事との取合		他工事との取	비수다		合併工事	の場合は _{建 筑}	工種区分 電気設備	
					般		● コンクリート壁、床			יג	リーブ・箱入	•	•	*
	い事項は、すべて ● 印の									補	強	*	•	•
	(機械設備工事編)(平成				共		 鉄骨造の開口及び補 ・ 照明器具・幹線等の 		ト(くぎ処理共)	.)		*	•	•
	□仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。) ■ <td>通</td> <td></td> <td> ・ 軽量鉄骨壁のボック ・ </td> <td></td> <td></td> <td>,</td> <td></td> <td>•</td> <td>*</td> <td>•</td>			通		 ・ 軽量鉄骨壁のボック ・ 			,		•	*	•	
事標準図	(機械設備工事編)(平向	戊31年版)」(以下「	「標準図」という)。)	事		 ● 埋込分電盤・端子盤 	・プルボックスの仮枠エ	あび畑込部分の	<i>振</i> 道 仮	枠	•	*	•
	合和元年版)」(以下「監 ば建築エ恵けるねぞねの煙				尹					補	強	*	٠	•
■上争及	び建築工事はそれぞれの標	华仕様書寺及び監理相	竏を 適用 9 る。		項		• 0A707·71-	アクセスフロアの切込み	み及び補強	177	(1)] 7.	*	•	•
							● 埋込形機器取付用の	天井・壁の切込加工及び	び下地の補強	- 切	り込み 強	•	•	*
目する。							 ● 自動開閉装置を取付 	ける防火戸の切込み、袝	補強及びドアク	'''' ローザ、フロ		*	•	•
. •	印と 🛞 印の付いた場合は	両方を適用する。					 ● 電気室、自家発電室 	などの基礎及びピット	(蓋を含む)			*	٠	•
3、14	、34、35、37)項	は、● 建築 ● 電	気設備 工事仕	様書による。			● 天井点検口					*	٠	•
	特記事	項					● 機器類のコンクリー	ト基礎			内・屋外設置 上 設 置	•	•	*
公署その	也への手続き、検査並びに	その費用は、請負者の	負担とする。				 ● 機器付属の制御盤及 	び操作盤から機器までの	の配線		上改直	•	•	*
	鳥取県総務部営繕工事自家 						 機器用コントロール2 			及び配線		•	•	*
	間中自家用電気工作物の保 節1.3.2によるものと					 エ事用水・電力・その他 	本工事に必要な工事用電:	カー水及び諸王続きかよ	どの費田けすべ	て受注者の自	自由とする			
	テ う ものとする。		10.000	2010 0、日水	I	 13 表示板 	ネニシにものでは、設ける。(寸法等は下図)							
無し							※ 工事表示板		• ;	お願い表示権	扳			
)						90	00	t		1, 200			Ī
無し	1++							「 事 山			御通行中の皆相	 美へ]
?管用保 スベス	晶材 ·含有設備資機材(ガスケ [、]	 アスベスト含 ット、パッキン、たわみ 		系法令に				—— 抽缶						- 地色 白 - 地色
	処理を行う。		(지전) (F. F				工事名 00000	0新築工事 マンセル		令和〇〇年〇月				- 地包 マンセル記号 5YR6.5/
*							延べ面積	ンクリート造 O階建 責OOOOm2 O月からO年O月まで		簡単な	なパース、又は立言	面図を掲載す	- 3	
コンクリ	一卜塊	• アスファルト:	コンクリート塊)			エ 単 期間 令和〇年(設計者 〇〇〇〇〇〇 監理者 西部総合事務所環境	D設計		(拡大)	カラーコピーを張	り付けてもよ	こい)	
書設発生		•	55 T)			- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	D設計	000	事業の目的 000000	00000000	00000	0000	
	┼図書に規定するもの又は 津築材料・設備機材等品質							-0000	1, 60	000000	00000000	00000	0000	
	ものとする。						現場責任者 〇〇		5 白 王	現在の進捗率〇	0%			
を使用す	る場合は、標準仕様書第1	編第1章第4節1.4	. 2 (c) の品	質及び性能を有			建築住宅課 〇		1	事業協力のお願 工事期間中	iい は、ご迷惑をおか	けしますが	、ご理解と	
)提出を	省略できる。ただし、標準	仕様書に規定される製	作図、試験成績	等は除く。			● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■				くお願いします。			
集(今	印元年版)によるほか、監						1. 書体は角ゴシック	とする。		施工者 〇〇〇〇 連絡先 発注者 鳥取県	TEL OO			一地色 白
										1 to the second			在7曲 cfr 中	
係わる	当該建物に限る使用権は発 D.「TまC真撮影ガイドゴ			トスはか			2. お願い表示板は平	ー・・。 易な表現及び内容とし、		連絡先 建 T	 鳥取県西部総 築住宅課 〇〇係 EL 〇〇一〇〇 		境建築局	
に係わる 善部監修	の「工事写真撮影ガイドブ			よるほか、			2. お願い表示板は平 監督員が指示する	易な表現及び内容とし、		建	築住宅課 〇〇係		竞建築局	
に係わる 善部監修						④ 工事用仮設物	監督員が指示する 構内に作ることが	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る	 :⊞ •	建 T 来ない	- 築住宅課 00係 EL 00-00	00		
-係わる 善部監修 己のもの 各	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。	ック機械設備工事編	平成30年版」に			④ 工事用仮設物15 土工事	監督員が指示する	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの月	 :± •	建 T 来ない	- 築住宅課 00係 EL 00-00	00		
 係わる 善部監修 このもの 各 ごス判 	の「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所	ック機械設備工事編 部数	平成30年版」に 電子デー	タの提出		•	監督員が指示する 構内に作ることが	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る	 :± •	建 T 来ない	- 築住宅課 00係 EL 00-00	00		
 係わる 着部監修 のもの う ごス判 ごス判 	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 	平成30年版」に 電子デー ③ 要	タの提出 ● 不要		•	監督員が指示する 構内に作ることが	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの ● 山砂の類(● 真砂土 (:± •	建 〒 ンクリート))	- 築住宅課 00係 EL 00-00	<u>00</u>]囲は山砂	の類)]
C係わる 善語監修 このもの 格 ごス判 ごス判 ごス判	 D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による S S S S 名 	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 称	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要	タの提出 ● 不要		•	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの長 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平成	 ・ 出: ・ し: ・ 満内に敷な ・ 満内に敷な ・ 減8年版」(建) 	建 来ない ンクリート () らし ・ 設大臣官房間	案住宅課 ○○係 EL ○○-○○ 管以外の管の居 構内の指示す 官庁営繕部監修	00) 一 る 場所に い よ る	の類) 堆積 こととし	
 係わる 書部監修 このもの 予ごス判 ごス判 	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	タの提出 ● 不要 ● 不要		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震	 易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る 根切土のなかの員 山砂の類(真砂土 (構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 	 ・ 出: ・ し: ・ 満内に敷な 成8年版」(建: 版」(国土交通) 	建 来ない ンクリート ・ う う シ シ た し ・ ・ 設 大臣官房町 省国土技術研	 <u> </u>	OO 囲は山砂 - る場所に () による テ・(独)建	の類) 堆積 こととし	
 二係わる 善語監修 己のもの 各 ごス判 ごス判 	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 称	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	タの提出 ● 不要 ● 不要 部 数		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計」 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平所 設計・施工指針2014年制 器の荷重 (kN)に、地域	 曲 ・ 曲: ・ 構内に敷な 或8年版」(建: 版」(国土交通: 係数、設計用構 	建 来ない ンクリート ・ う う シ シ た し ・ ・ 設 大臣官房町 省国土技術研	 <u> </u>	OO 囲は山砂 - る場所に () による テ・(独)建	の類) 堆積 こととし	
係わる 部 監 修 の もの	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	タの提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平所 設計・施工指針2014年制 器の荷重 (kN)に、地域	 曲 ・ 曲: ・ 構内に敷な 或8年版」(建: 版」(国土交通: 係数、設計用構 	建 来ない ンクリート ・ う う う う し ・ ・ 音 居 下 省 国土技術研 票準水平震度	 <u> </u>	OO)))) による デ・(独)建 とする。	の類) 堆積 こととし	
係わる 部監修 のもの ス判 ス判	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	タの提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1 部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計」 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの目 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2	 ・ 出: ・ (・ コ ・ 構内に敷な 或8年版」(建) 派数、設計用構 次による。 ・ 特定の ● 重要機器 	建 来ない ンクリート ・ シクリート ・ ・ シ シクリート ・ ・ ・ ・ シ シクリート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	集住宅課 ○○係 EL ○○-○○○ 管以外の管の居 構内の指示す 官庁営繕部監修 政策総合研究所 を乗じたもの ● 一般(● 重要機器	OO 周囲は山砂 - る場所に ⑤ による テ・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機	の類) 堆積 こととし 器	
係わる	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	タの提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平成 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域	 ・ 出: ・ は: ・ 構内に敷な 或8年版」(建) 版」(国土交通・ 派数、設計用構 欠による。 ・ 特定の 	建 来ない ンクリート ・ う う う た む た 臣 官 房 下 御 御 二 本 水 平 震 歴 水 平 震 度 の か い い い い い い い い い い い い い	 <u>▲住宅課</u>○○○係 <u>唐</u>以外の管の居 <u>備内の指示す</u> <u>官庁営繕部監修</u> <u>取策総合研究所</u> <u>長を乗じたもの</u> <u>●一般</u> 	OO)))))))))))))	の類) 堆積 こととし 器 0	
係 部 の もの スス 時 L L L L L L L L L L L L L L L L L	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	タの提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平府 設計・施工指針2014年開 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機 器 防振設置機器 水 槽 類	 ● 出: ● 構内に敷な 或8年版」(建: 返3(国土交通: 係数、設計用構 次による。 ● 特定の ● 東要機器 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 	建 来ない ンクリート) うし ・ 設大臣官房間 業水平震度 の施設 ・ 一般機器 1.5 2.0 1.5	集住宅課 ○○係 EL ○○-○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○○ 周囲は山砂 「る場所に ⑤」による 「・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 1.	の類) 堆 こ 築 子 田 器 0 5 0	
係わる (係わる のもの ス判 ス判 ル	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ CADデータ ③ ● CADデータ ④	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	タの提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平府 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器種別 機器 防振設置機器	 ・ 出: ・ 出: ・ 構内に敷な 或8年版」(建: 版」(国土交通 派数、設計用構 欠による。 ・ 特定の ・ 専機器 2.0 2.0 2.0 	建 来ない ンクリート) うし 設大臣官房 業 本 平 震度)施設 ● 一般機器 1.5 2.0	集住宅課○○○係 EL○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○○ 周囲は山砂 「る場所に ⑤」による 「・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1.	の類) 堆こ築研究 器0 50 6	
係 部 郎 も の ス ス 時 に 監 ル	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ CADデータ ③ ● CADデータ ④	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの長 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平原 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器種別 機器 下振設置機器 水 槽 類 機器 水 槽 類	 ・ 出: ・ 間: ・ 構内に敷な 或8年版」(建) (国土交通・ 派数、設計用構 次による。 ・ 特定の ・ 特定の ・ 生要機器 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 1.5 	建 来ない ンクリート ・) う う う し ・ ・ の 、 た 臣 官 房 下 の ・ の 、 の ・ の 、 の ・ の 、 の ・ の の の の の の の の の の の の の	集住宅課 ○○係 EL ○○-○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○○ 周囲は山砂 こる場所に 5) による 示・(独)建 とする。 0 加施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0.	の類)) 堆こ築研 器005060 60606	
係 部 監 も の ス ス 円 に 監	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ CADデータ ③ ● CADデータ ④	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	タの提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋	 易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る 根切土のなかの長 山砂の類(真砂土 (構外に搬出 画基準及び同解説・平成設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は3 	 ・ 出: ・ 構内に敷な 或8年版」(建) 版」(国土交通: 係数、設計用構 次による。 ・ 特定の ・ 全要機器 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 	建 来ない ンクリート)) らし ● の 記 数 大臣官房間 業準水平震度 0 施設 ● 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5	集住宅課 ○○ GR 管 以外の管の居 構内の指示す 官庁営繕部監修 数策総合研究所 を乗じたもの ● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5	○○ 周囲は山砂 「る場所に ⑤)による 〒・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1.	の類) 堆こ築研 器0 <u>506</u> 0 6 4	
系わる	D「工事写真撮影ガイドブを提出する。 接影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による 踏職員に提出する。 客職員に提出する。 全 完成図 原紙 施工図 原紙 ② 完成図(縮小版) ● 施工図 ● 完成図(縮小版) ③ 完成図(縮小版) ③ 主要機器図 ※ 試験成績書 ※ 保守に関する指導案 ※ 機器取扱説明書	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ CADデータ ③ ● CADデータ ④	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1 部 ※ 2 部 ● 部 1 部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中 間 階	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平原 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は3 機器種別 機器種別 機器 防振設置機器 水 槽 類 機器 機器 水 槽 類 機 器	 ・ 出: ・ 出: ・ 構内に敷な 或8年版」(建) (国土交通・ (派数、設計用構 次による。 ・ 特定の ・ 特定の ・ 集要機器 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 1.5 1.0 	建 来ない ンクリート ()) らし シ シクリート ()) らし ● の () () の () () の () () の () () の () () () () () () () () () ()	集住宅課 ○○係 EL ○○-○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	○○ 周囲は山砂 「る場所に ⑤)による 示・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 0. 0.	の類) 堆こ築研 器05060 646	
係わる 係わる のもの ス 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ② CADデータ ③ ● CADデータ ④	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ④ 要 PDFデータ PDFデータ	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震計 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの長 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平原 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器種別 機器 防振設置機器 水 槽 類 機器 防振設置機器 水 槽 類 機器 防振設置機器 水 槽 類	 ・ 出: ・ 構内に敷な 或8年版」(建: (國土交通: (孫数、設計用構 欠による。 ・ 特定の ・ 特定の ・ 生要機器 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 4.0 1.5 5 1.0 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 5 6 5 7 5 6 5 7 5 7 6 7 7	建 来ない ンクリート ・) らし 参 の た臣官房間 二 本 次 平 濃 次 平 震 で の 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	集住宅課○○○係 「「「」」」」。 「「」」」」。 「「」」」」。 「」」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」、」。 「」、」、 「」、」。 「」、 「」、」。 「」、」、 「」、」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、	○○ 周囲は山砂 こる場所に ⑤)による 下・(独)建 をする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	の類) 堆こ築 器0 50 60 64 6 6 6	
係わる 部 監 の もの 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	D「工事写真撮影ガイドブを提出する。 接影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による 踏職員に提出する。 客職員に提出する。 全 完成図 原紙 施工図 原紙 ② 完成図(縮小版) ● 施工図 ● 完成図(縮小版) ③ 完成図(縮小版) ③ 主要機器図 ※ 試験成績書 ※ 保守に関する指導案 ※ 機器取扱説明書	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ② CADデータ ③ ● CADデータ ④	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ④ 要 PDFデータ PDFデータ	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1 部 ※ 2 部 ● 部 1 部		15 土工事	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震計 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 防振設置機器 水 槽 類 機機 器 防振設置機器 水 槽 類 機機 器	 ・ 出: ・ 構内に敷な 或8年版」(建: (國土交通: (孫数、設計用構 欠による。 ・ 特定の ・ 特定の ・ 生要機器 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 4.0 1.5 5 1.0 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 5 6 5 7 5 6 5 7 5 7 6 7 7	建 来ない ンクリート ・) らし 参 の た臣官房間 二 本 次 平 濃 次 平 震 で の 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	集住宅課○○○係 「「「」」」」。 「「」」」」。 「「」」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」、」。 「」、」、 「」、」。 「」、」。 「」、」、 「」、」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、	○○ 周囲は山砂 こる場所に ⑤)による 下・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0.	の類) 堆こ築 器0 50 60 64 6 6 6	
係 お 低 わ る 修 の も の う 、 通 の 背 表 周 の も の し 、 の も の し 、 の も の し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ CADデータ ③ ○ CADデータ ④ ○ CADデータ ④ ○ ホロデータ ● 	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ● 更 P D F データ P D F データ B D F データ	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 1 第 1		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 	 監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震設設計用水平地震力は、機器 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用新 	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの見 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平原 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器種別 機器 下振設置機器 水 槽 類 機器 防振設置機器 水 槽 類 機器 防振設置機器 水 槽 類 機器 防振設置機器 水 槽 類	 ● 出: ● 二 ● 構内に敷な 成8年版」(建) 版」(国土交通・ 派数、設計用構 次による。 ● 特定の ● 重要機器 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 1.5 1.0 1.5 1.2 1.2 1.2 1.2 1.5 1.0 1.5 1.2 1.2 1.2 1.5 1.2 1.3 1.4 1.4 1.5 1.	来ない ンクリート)) らし シ シクリート)) う し シ や ・ 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	集住宅課○○○係 「「「」」」」」。 「「」」」」」。 「「」」」」」。 「「」」」」」。 「」」」」。 「」」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」」」。 「」、」。 「」、 「」、」。 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、	○○ 周囲は山砂 「る場所に ⑤)による 〒・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 5. 類 ものとする	の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	監修) によ
係わる 係わる 修わる の もの 、 つ 背表 周	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ CADデータ ③ ○ CADデータ ④ ○ CADデータ ④ ○ ホロデータ ● 	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ● 更 P D F データ P D F データ B D F データ	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 1 第 1		15 土工事 16 耐震措置	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用新 機器類は、図示する形状	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 酸計型にの構築 機器種別 機器 防振設置機器 水 槽 類 機器 防振設置機器 水 槽 類 ● 防災機器 協直地震力は水平地震力 、配管等などの取出し位 、原則として表示された	 ・ 出: ・ 出: ・ 構内に敷な 或8年版」(建議) (国土交通) (派数、設計用構 次による。 ・ 特定の ・ 特定の ・ 生での 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 1	建 来ない ンクリート)) らして臣官房 軍 水平震 の し を を 大臣臣技振度 1.5 2.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	集住宅課○○○係 當以外の管の局 構内の指示す 官庁営繕部監修 政策総合研究所 を乗じたもの ● 一般(● 重要機器 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 4 1.0 5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 4 4 4 4 5 4 4 4 5 1.0 1.0 1.0 <	○○ 周囲は山砂 「る場所に ⑤)による 〒・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 5. 類 ものとする	の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	監修) によ
係部の スス 時 ル の 、 業 おる修 の 判 監 お	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による 容職員に提出する。 名 完成図 ● 原紙 施工図 ● 原紙 総 完成図 ② 完成図(縮小版) ④ 売成図(縮小版) ④ 売成図(縮小版) ④ 施工図 ④ 完成図(縮小版) ③ 注要機器図 ③ 試験成績書 ※ 保守に関する指導案 ※ 機器取扱説明書 ※ 建要機器一覧表 低に「施設コード・部局名 する工事作業中、1名以上 を行う。また、そのものが	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● ○ ※ CADデータ ② ③ CADデータ ③ ④ CADデータ ④ ● CADデータ ④ ● ホリラベルを貼り付け の者が自ら作業をする 技能士であることが分、 	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ PDFデータ A C C C C C C C C C C C C C	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用針 機器類は、図示する形状、 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの見 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平原 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器種別 機器種別 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 時振設置機器 水槽類 機器 時振設置機器 水槽類 機器 時振設置機器	 ・ 出: ・ は: ・ 構内に敷な 或8年版」(建) (国土交通・ (大による。) ・ 特定の ● 特定の ● 集要機器 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5<td>来ない ンクリート)) らし し し し し し し し し し し し し し</td><td> 業住宅課 ○○○ 管以外の管の居 構内の指示す 育庁営繕部監守 ● 一般(● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 4 > 2 > 0 1.5 1.0 5 6 5 6 6 7 8 7 9 7 7 8 7 8 9 9 9 9 9 9 10 <l< td=""><td>○○ 周囲は山砂 「る場所にる 「・(独)建 ・(独)建 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td><td>の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</td><td>監修)によ</td></l<></td>	来ない ンクリート)) らし し し し し し し し し し し し し し	 業住宅課 ○○○ 管以外の管の居 構内の指示す 育庁営繕部監守 ● 一般(● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 4 > 2 > 0 1.5 1.0 5 6 5 6 6 7 8 7 9 7 7 8 7 8 9 9 9 9 9 9 10 <l< td=""><td>○○ 周囲は山砂 「る場所にる 「・(独)建 ・(独)建 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td><td>の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</td><td>監修)によ</td></l<>	○○ 周囲は山砂 「る場所にる 「・(独)建 ・(独)建 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	監修)によ
係 部 の 、 業 (・ ・	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ CADデータ ② CADデータ ③ CADデータ ④ CADデータ ④ ホ」ラベルを貼り付け の者が自ら作業をする 技能士であることが分: ● 熱絶縁施工 (● 	平成30年版」に 電子デー ③ 要 ④ 要 PDFデータ PDFデータ A C C C C C C C C C C C C C	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用紙 機器類は、図示する形状、 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 酸計型にといいで、 機器種別 機器 防振設置機器 水 槽 類 機器 防振設置機器 水 槽 類 ● 防災機器 協直地震力は水平地震力 、配管等などの取出し位 、原則として表示された	 ● 出: ● 出: ● 構内に敷な 成8年版」(建) 版」(国土交通: 派数、設計用構 次による。 ● 特定の ● 重要機器 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5	来ない ンクリート)) らし し し し し し し し し し し し し し	 業住宅課 ○○○ 管以外の管の居 構内の指示す 育庁営繕部監守 ● 一般(● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 4 > 2 > 0 1.5 1.0 5 6 5 6 6 7 8 7 9 7 7 8 7 8 9 9 9 9 9 9 10 <l< td=""><td>○○ 周囲は山砂 「る場所にる 「・(独)建 ・(独)建 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td><td>の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</td><td>監修) によ</td></l<>	○○ 周囲は山砂 「る場所にる 「・(独)建 ・(独)建 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	監修) によ
係部の スス時 ル の 、業 (の 1) 1) 1) 1) 1) 2) スス (入) スス (入) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1) 1)	D「工事写真撮影ガイドブ	 ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ CADデータ ③ ○ CADデータ ④ ○ CADデータ ④ ○ CADデータ ④ ○ CADデータ ● ○ CA	平成30年版」に 電子デー ● 要 ● 要 PDFデータ PDFデータ PDFデータ る。 とともに他の技 かる名札 (下図 1 級 ● 2	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	 監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計計 施工は「建築設備耐震設設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用銘 機器類は、図示する形状、 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 冷温水管 (・ロ ④ 蒸気管 (・ロ 	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの見 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平原 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器種別 機器 酸計用標準水平震度は2 機器種別 機器 酸計用標準水平震度は2 機器種別 機器 酸計用標準水平震度は2 一 機器種別 機器 路の防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 路直地震力は水平地震力 、配管等などの取出し何 、原則として図面に ックウール ● グラフ	 ・ 出: ・ 出: ・ 構内に敷な 或8 年版」(建) ・ (建) (源数、設計用構 欠による。 ・ 特定の ・ 特定の ・ 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 1.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5	来ない ンクリート ・) ら 設 省 二 の ・ を た 主 大 要 か や で に た ま ま で で で 市 術 で で の で 、 の で の 、 の で の 、 の 、 の こ の の 、 の こ の の 、 の 、 の 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の の 、 の の の の 、 の 、 の 、 の の の の の 、 の 、 の の の の の の の の の の の の の	集住宅マ○-○G 常以外の管の居 構内の指示す 官庁営繕合研究所 を乗じたもの ● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.0 0.6 1.0 1.0 0.6 1.0 1.0 0.5 1.0 1.0 0.6 1.0 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	○○ 周囲は山砂 「る場所による。 「・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 数 ほよまま ● 一般機 第 ・(独)建 とする。 のたまままた。 ● 一般機 1. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0	の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	監修) によ
係部の スス 時 パーション パンパン パンパン パンパン パンパン パンパン パンパン パンパン パ	D「工事写真撮影ガイドブを提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による 客職員に提出する。 名 完成図 原紙 施工図 原紙 ② 完成図(縮小版) ● 施工図 ● 完成図(縮小版) ● 売成図(縮小版) ● 売成図(縮小版) ● 読工図 ② 完成図(縮小版) ● 読工図 ● 完成図(縮小版) ● 読工器 ● 完成図(縮小版) ● 読工要機器図 ※ 試験成績書 ※ 保守に関する指導案 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表 紙に「施設コード・部局名 おる工事作業中、1名以上 皆る工事作業中、1名以上 皆る工事作業中、1名以上 1級 2級)	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ CADデータ ③ ④ CADデータ ④ ● CADデータ ④ • の者が自ら作業をする おが自ら作業をする お飲まてあることが分 ・ 建築板金 (●	平成30年版」に 電子デー ● 要 ● 要 PDFデータ PDFデータ PDFデータ る。 とともに他の技 かる名札 (下図 1 級 ● 2	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用針 機器類は、図示する形状、 機器類は、図示する形状、 機器類は、図示する形状、	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 酸計設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 協主地震力は水平地震力 、 原則として図面に ックウール ● グラス	 ● 出: ● 出: ● 構内に敷な 成 8 年版」(建) 版」(国土交通: 液数、設計用構 次による。 ● 特定の ● 使要機器 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 1.2 0.1/2とし、 立置及び製造品: た症以まされてい、 スウール マウール マウール 	来ない ンクリート ・) ら 設 省 二 の ・ を た 主 大 要 か や で に た ま ま で で で 市 術 で で の で 、 の で の 、 の で の 、 の 、 の こ の の 、 の こ の の 、 の 、 の 、 の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の の 、 の の の の 、 の 、 の 、 の の の の の 、 の 、 の の の の の の の の の の の の の	集住宅マ○-○G 常以外の管の居 構内の指示す 官庁営繕合研究所 を乗じたもの ● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.0 0.6 1.0 1.0 0.6 1.0 1.0 0.5 1.0 1.0 0.6 1.0 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	○○ 周囲は山砂 「る場所による。 「・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 数 ほよまま ● 一般機 第 ・(独)建 とする。 のたまままた。 ● 一般機 1. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0	の類) 堆 こ 築 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	監修) によ
係 部 も の る 能 の の し 、 業 (・ の し 、 業 (・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ CADデータ ③ ④ CADデータ ④ ● CADデータ ④ • の者が自ら作業をする おが自ら作業をする お飲まてあることが分 ・ 建築板金 (●	平成30年版」に 電子デー ● 要 ● 更 P D F データ P D F データ P D F データ S - 2 - 1 級 ● 2 - 1 級 ● 2	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計」 施工は「建築設備耐震計 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用約 機器類は、図示する形状、 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 ・ 冷温水管 (• ロ ・給水管 (• ロ ・ 振水管 (• ロ	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの員 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平府 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 Ga地震力は水平地震力 、原則として表示された 等は、原則として図面に ックウール ● グラフ ックウール ● グラフ ックウール ● グラフ	 ・ 出: ・ 出: ・ 構内に敷な 成3 年版」(建) (運) (運) (運) (重) (重) (重) (重) (重) (重) (重) (重) (重) (1, 5) (1, 5)<	建 来ない ンクリート ・) う し を 主 大 二 、 の ・ で で 市 ボ で で 市 ボ で で 市 ボ で で 市 ボ で で 市 ボ で で 市 ボ で で 市 ボ で で で 市 ボ で で で 市 ボ で で で 市 新 で で で う う う う う う う う う う う う う	案住 ^宅 UOOG 當以外の管の局 常方営繕研究所 官庁営繕合研究所 を乗じたもの ● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 0.6 1.0 0.6 1.0 1.0 0.6 1.0 0.6 1.0 0.5 1.0 0.6 1.0 0.5	OO 周囲は山砂 「る場所にる 「・(独)建 とする。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0	の 堆 こ 築 一 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 、 限 定 し 下 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	、 監修)によ ない。)) し) し
係部の スス 時 ル の 、 業 ((離 職作 職作 職作 職作 職作 単 一 一 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	D「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による 客職員に提出する。 名 完成図 原紙 施工図 原紙 ② 完成図(縮小版) ④ 施工図 ② 完成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ④ 売成図(縮小版) ④ 売成図(縮小版) ③ 完成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ● 完成図(縮小版) ● 完成図(縮小版) ● 実要機器回 ③ 主要機器の ● 完成図(縮小版) ● 素成図(縮小版) ● 素成図(縮小版) ● 素成図(縮小版) ● 素酸酸成積書 ※ 生要機器一覧表 低に「施設コード・部局名 歩名工事作業中、1名以上 ● 2級) 1級 ● 2級) 1級 ・2級) 二 工 ■ 配管 ■ 建築配管作業	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● ○ ○ C A D データ ④ ● C A D データ ● ● C A D データ ● ● C A D データ ● ● すいの ● 建築板金 (● ● 技能士の職種によ 支能士の職種	平成30年版」に 電子デー ● 要 ● 更 P D F データ P D F データ P D F データ S - 2 - 1 級 ● 2 - 1 級 ● 2	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用紙 機器類は、図示する形状、 機器類は、図示する形状、 機器類は、図示する形状、 機器類は、図示する形状、	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの長 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平原 設計・施工指針2014年間 器の荷重(kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 優 勝調としてと 、原則として図面に ックウール ● グラス ックウール ● グラス	 ・ 出: ・ 出: ・ 構内に敷な 成 8 年版」(2) (3) (4) (5) (5) (7) (7)	建 来ない ンクリート電)) ら設省票 施設 ●一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0	 業住宅マ〇〇〇〇〇 管以外の管の居 南庁営繕部監守 官庁営繕部監守 修 要業総合研究所 を乗じたもの ● 一般で ● 重要機器 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 4 5 2.0 5 1.0 5 1.0 4 5 2.0 5 1.0 5 1.0 5 1.0 4 5 5 1.0 5 1.0 5 1.0 0.6 1.0 4 5 6 5 7 9 <l< td=""><td>OO 周囲は山砂 「・(独)建 ら) による。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 数 単のとする。 単ののとする。 単ののとする。</td><td>の 堆 こ 築 一 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 、 限 定 し 下 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二</td><td>、 監修)によ ない。)) し) し</td></l<>	OO 周囲は山砂 「・(独)建 ら) による。 の施設 ● 一般機 1. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 数 単のとする。 単ののとする。 単ののとする。	の 堆 こ 築 一 器 0 5 0 6 0 6 4 6 6 5 、 限 定 し 下 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	、 監修)によ ない。)) し) し
係わる 係 部 の も の そ 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	D「工事写真撮影ガイドブを提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による 客職員に提出する。 名 完成図 原紙 施工図 原紙 ② 完成図(縮小版) ④ 施工図 ② 完成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ④ 売成図(縮小版) ④ 売成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ● 完成図(縮小版) ● 完成図(縮小版) ● 完成図(縮小版) ● 完成図(縮小版) ● 素成図 ● 完成図(縮小版) ● 素成図(縮小版) ● 素成図(縮小版) ● 素成図(縮小版) ● 素成図(線書) ※ 主要機器一覧表 低に「施設コード・部局名 歩る工事作業中、1名以上 を行う。また、そのものが 1級 ● 2級) 1級 ・2級) 二 工 重整築配管作業 ● 建築配管作業 ● 1級	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ③ CADデータ ③ ④ CADデータ ④ ● CADデータ ④ • の子のルを貼り付け ・の者が自ら作業をする · · ·	平成30年版」に 電子デー ● 要 ● 更 P D F データ P D F データ P D F データ S - 2 - 1 級 ● 2 - 1 級 ● 2	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用紙 機器類は、図示する形状、 機器類は、図示する形状、 機器類は、図示する形状、 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 ・冷温水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・名湯管 (・ロ	易な表現及び内容とし、ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの長 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準 及び同解説・平瓦 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器設置機器 水槽類 ● 防災機器 路直地震力は水平地震力 、原則として表示された 等は、原則として図面に ックウール ● グラス ックウール ● グラス	 ・ 出: ・ 出: ・ 端内に敷な 成8年版」(建) (建) (振数、設計用構 次による。 ・ 特定の ・ 特定の ・ 登場 ・ (北京の) ・ (建 来ない ンクリート電)) ら設省票 施設 ●一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0	業住宅マ〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		の類) 堆こ築研 器050606466 3。、限定し	監修)によ ない。)) () () ()
係 部 の 条 ご ス 時 パ 、 一 の 、 業 (() 能 作 級 氏 勤 で か 、 業 ()) 能 作 級 氏 勤 で か 、 業 ()) 能 作 級 氏 勤 で か 、 業 ()) 作 能 作 級 氏 勤	D 「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ CADデータ ② ④ CADデータ ③ ④ CADデータ ④ ● CADデータ ④ ● CADデータ ④ ● たいまいり付け の者が自ら作業をする ※技能士であることが分: ● 熟絶縁施工 (● ● 建築板金 (● ● 技能士の職種によ ● 技能士の職種によ ● 技能士の職種によ ● 技能士の職の別 ● 技能士の級の別	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ● 更 PDFデータ PDFデータ PDFデータ る。 とともに他の技 かる名札(下図 1 級 ● 2 1 級 ● 2	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部 1 部		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用紙 機器類は、図示する形状 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 。冷温水管 (●ロ ・給水管 (●ロ ・給水管 (●ロ ・給湯管 (●ロ ・消火管 (●ロ	易な表現及び内容とし、ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの見 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「「」」」。 。 「」」」。 。 「」」。 。 「」」。 。 「」」。 。 「」」。 。 「」。 。 」。 。	 ・ 出: ・ 出: ・ 端内(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(建 来ない シクリート)) ら設省標準 たして日本来 でです。 を した日本来ででです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです	業住宅の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	○○ 周囲は山砂 こる場所によう。 シー般樹 1. 1. 0. 1. 0. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0		store store ない。))) () () () () () () () (
係部の そ、業 () の 、業 () 職作級氏勤自 で、業 () の 、業 () の 、業 ()	D 「工事写真撮影ガイドブ を提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● ○ ○ C A D データ ④ ● C A D データ ● ● C A D データ ● ● C A D データ ● ● すいの ● 建築板金 (● ● 技能士の職種によ 支能士の職種	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ● 更 PDFデータ PDFデータ PDFデータ る。 とともに他の技 かる名札(下図 1級 ● 2 1級 ● 2 1級 ● 2 いもを変えること いのものででのです。	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震計 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用紙 機器類は、図示する形状 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 ・冷温水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・消火管 (・ロ ・灯、の	易な表現及び内容とし、ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの見 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「災機器 協直地震力は水平地震力 。 「「」」」。 。 「」」」。 。 「」」。 。 「」」。 。 「」」。 。 「」」。 。 「」。 。 」。 。	 ・ 出: ・ 出: ・ 端内(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(建 来ない シクリート)) ら設省標準 たして日本来 でです。 を した日本来ででです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです	業住宅の〇一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	○○ 周囲は山砂 こる場所によう。 シー般樹 1. 1. 0. 1. 0. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0		sub sub cub cub cub cub cub cub cub cub cub c
係部の 条 ご 、 時 の 、 業 (D「工事写真撮影ガイドブを提出する。 撮影箇所 各工種工程毎 監督職員の指示による 客職員に提出する。 名 完成図 原紙 施工図 原紙 ② 完成図(縮小版) ④ 売成図(縮小版) ④ 売成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ④ 完成図(縮小版) ● 流成図(縮小版) ● 読ま要機器図 ② 記験成績書 ※ 保守に関する指導案 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表 紙に「施設コード・部局名 する工事作業中、1名以上 なる工事作業中、1名以上 なる工事作業中、1名以上 なる工事作業中、2級) 1級 2級) 1級 2級) 二 一 重 配管 名 建築配管作業 1級 0山〇夫 〇〇工務店 鳥取市	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ CADデータ ② ③ CADデータ ③ ④ CADデータ ④ ● CADデータ ④ ● CADデータ ④ ● たんしデータ ● ○ たんし ● </td <td>平成30年版」に 電子デー ④ 要 ● 要 ● PDFデータ PDFデータ PDFデータ の Fデータ の Fデータ 1 級 ● 2 1 ※</td> <td>夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1</td> <td></td> <td> 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 </td> <td>監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用紙 機器類は、図示する形状 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 。冷温水管 (●ロ ・給水管 (●ロ ・給水管 (●ロ ・給湯管 (●ロ ・消火管 (●ロ</td> <td>易な表現及び内容とし、ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの見 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器器 防振設置機器 水槽類 機器器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 合直地震力は水平地震力 。 原則として表示された 等は、原則として表示された 等は、原則として表示された 等は、原則として図面に ックウール ● グラス ックウール ● グラス シークラス シークラール ● グラス シーク シークラス シークラス シークラス シーク シーク シークラス シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク</td> <td> ・ 出: ・ 出: ・ 端内(二敗な) ・ 歳 本版」(建) ・ (建) ・ (表) ・ (建) ・ (表) ・ (表) ・ (表) ・ (表) ・ (大) ・ (</td> <td>建 来ない シクリート)) ら設省標準 たして日本来 でです。 を した日本来ででです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです</td> <td> 業住宅の〇〇〇〇 常以外の管の周 情方営結研究所 官庁営結合研究所 を乗じたもの ● 一般(● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 4,5 2.0 1.5 1.0 4,5 2.0 1.5 1.0 4,5 2.0 1.5 1.0 4,5 2.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0<</td> <td>○○ 周囲は山砂 こる場所によう。 シー般樹 1. 1. 0. 1. 0. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0</td> <td></td> <td>sun。 ()) () () () () () () () ()</td>	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ● 要 ● PDFデータ PDFデータ PDFデータ の Fデータ の Fデータ 1 級 ● 2 1 ※	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用紙 機器類は、図示する形状 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 。冷温水管 (●ロ ・給水管 (●ロ ・給水管 (●ロ ・給湯管 (●ロ ・消火管 (●ロ	易な表現及び内容とし、ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの見 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器器 防振設置機器 水槽類 機器器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 合直地震力は水平地震力 。 原則として表示された 等は、原則として表示された 等は、原則として表示された 等は、原則として図面に ックウール ● グラス ックウール ● グラス シークラス シークラール ● グラス シーク シークラス シークラス シークラス シーク シーク シークラス シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク	 ・ 出: ・ 出: ・ 端内(二敗な) ・ 歳 本版」(建) ・ (建) ・ (表) ・ (建) ・ (表) ・ (表) ・ (表) ・ (表) ・ (大) ・ (建 来ない シクリート)) ら設省標準 たして日本来 でです。 を した日本来ででです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです。 でです	 業住宅の〇〇〇〇 常以外の管の周 情方営結研究所 官庁営結合研究所 を乗じたもの ● 一般(● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 4,5 2.0 1.5 1.0 4,5 2.0 1.5 1.0 4,5 2.0 1.5 1.0 4,5 2.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0<	○○ 周囲は山砂 こる場所によう。 シー般樹 1. 1. 0. 1. 0. 1. 0. 1. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0. 0		sun。 ()) () () () () () () () ()
係部の そ、二、時 の、、業 () 職作級氏勤自振 支、二、時 の、、業 () 職作級氏勤自振 した 、 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	D「工事写真撮影ガイドブ	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ C A D データ ② ④ C A D データ ④ ④ C A D データ ④ ● たいまたいのののののののののののののののののののののののののののののののののの	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ④ 要 PDFデータ PDFデータ PDFデータ So. とともに他の技 かる名札(下図 1級 ④ 2 1級 ● 2 1級 ● 2 はり色を変えること ftů 「些 工要事項(職地	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 置置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用銘 機器類は、図示する形状、 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 ・冷温水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・指水管 (・ロ ・消火管 (・ロ ・消火管 (・ロ ・消火管 (・ロ	易な表現及び内容とし、ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの見 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準及び同解説・平向 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器器 防振設置機器 水槽類 機器器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 合直地震力は水平地震力 。 原則として表示された 等は、原則として表示された 等は、原則として表示された 等は、原則として図面に ックウール ● グラス ックウール ● グラス シークラス シークラール ● グラス シーク シークラス シークラス シークラス シーク シーク シークラス シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク シーク	 ・ 出: ・ 出: ・ 構内に敷な 成 8 年版」(ション ・ 報版」(国土交通: (派数、る。) ・ 要機器 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.2 1.5 1.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5<!--</td--><td>建 来ない ら設省標準 か らして日本来 設 の 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0</td><td> 業住宅の〇一〇〇〇 常以外の管の店 構内の指示す 育営給合研究所 を乗じたもの ● 一般(● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 4 タンク シフォーム シフォーム (厚さの) シフォーム (厚さの) シフォーム (厚さの) シフォーム (厚さの) シマカ (厚さの) (アラスウ シート </td><td>一日 の の の の の の し し よ の で (独) に よ の で (独) に よ の で (独) に よ の で (独) の に よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で の 、 の い の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の の 、 の の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の</td><td></td><td>sun。 ()) () () () () () () () ()</td>	建 来ない ら設省標準 か らして日本来 設 の 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	 業住宅の〇一〇〇〇 常以外の管の店 構内の指示す 育営給合研究所 を乗じたもの ● 一般(● 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 4 タンク シフォーム シフォーム (厚さの) シフォーム (厚さの) シフォーム (厚さの) シフォーム (厚さの) シマカ (厚さの) (アラスウ シート 	一日 の の の の の の し し よ の で (独) に よ の で (独) に よ の で (独) に よ の で (独) の に よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で の 、 の い の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の の 、 の の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の		sun。 ()) () () () () () () () ()
	D「工事写真撮影ガイドブ	vク機械設備工事編 部数 ※ 1部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 2 部 ● 部 ※ 6 CADデータ ③ CADデータ ④ CADデータ ④ CADデータ ④ たれまであることが分: ● 建築板金 (● 技能士であることが分: 支能士の職種によ 技能士の職種によ 技能士の職種によ 技能士の級の別 気能主本人の住用 名札の発行元	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ● 要 ● PDFデータ PDFデータ PDFデータ の Fデータ の Fデータ 1 級 ● 2 1 ※	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計 施工は「建築設備耐震 設計用水平地震力は、機 図面に特記のない場合、 設置場所 屋上、塔屋 中間階 地階・1階 重要機器 注)設計用銘 機器類は、図示する形状 機器類の能力、容量等は、 電動機出力、燃料消費量 ・冷温水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・給水管 (・ロ ・給湯管 (・ロ ・消火管 (・ロ ・消火管 (・ロ ・消火管 (・ロ ・消火管 (・ロ	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの原 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に開設・平原 設計・施工指針2014年間 器の荷重準水平震度は2 機器種別 機器種別 機器種別 機器 器 防振設置機器 水槽類 機器と置機器 水槽類 機器と置機器 水槽類 機器と置機器 水槽類 の振設置機器 水槽類 後 勝振設置機器 水槽類 の振設置機器 水槽類 の振設置機器 水槽類 の振設置機器 水槽類 の振設置機器 の振設置機器 の振設置機器 の振設置機器 の振設置機器 の振設置機器 の振設置機器 の振設置機器 の振設での取出し位 の振りとして図面に ックウール ● グラフ ックウール ● グラフ ックウール ● グラフ ックウール ● グラフ ックウール ● グラフ ックウール ● グラフ	 ・ 出: ・ は: ・ せ: ・ せ:<	建 来ない ら設省票 施 う) うし ● 百方雨雨 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.5 1.0	業住宅の〇一〇の 常山外の管の周 「「「「「「「」」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」」 <td>一日 の の の の の の し し よ の で (独) に よ の で (独) に よ の で (独) に よ の で (独) の に よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で の 、 の い の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の の 、 の の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の</br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></br></td> <td></td> <td></td>	一日 の の の の の の し し よ の で (独) に よ の で (独) に よ の で (独) に よ の で (独) の に よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で い な り 定 よ の で の 、 の い の 、 の の 、 の 		
係部の スス時 ル 。 で、業((、業((、 職作級氏勤自能発 9 日 の 、業)(、 業)(、 職作級氏勤自能発 9	D「工事写真撮影ガイドブ	ック機械設備工事編 部数 ※ 1部 部数 ※ 2部 部数 ※ 2部 部数 ※ 2部 部 ※ 2部 ● ● ※ ○ ○ ○ ※ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ※ ○ ○ ○ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ○ ※ ※ ● ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	平成30年版」に 電子デー ④ 要 ④ 要 PDFデータ PDFデータ PDFデータ GO A A A A A A A A A A A A A	夕の提出 ● 不要 ● 不要 部 数 1部 ※ 2部 ● 部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1部 1		 15 土工事 16 耐震措置 ① 図形等の表示 18 電気容量及び機器表示 	 監督員が指示する 構内に作ることが (ア)埋め戻し土 (イ)建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計計 施工は「建築設備耐震計 施工は「建築設備耐震計 設計用水平地震力は、機構 図面に特記のない場合、 (人) 建設発生土処分 「官庁施設の総合耐震計計 施工は「建築設備耐震計 設計用水平地震力は、機構 図面に特記のない場合、 (人) 建設発生土処分 「電庁施設の総合耐震計計 施工は「建築設備耐震計 (人) 建設発生土処分 「電力施設の総合耐震計計 施工は「建築設備耐震 (人) 建設発生土処分 「電場所 一 一 (人) 建設発生土処分 「電場所 一 一 一 一 一 ● 間 階 地階・1 階 重要機器 注) 設計用約 機器類は、図示する形状 機器類の能力、密量等は、 電動機出力、燃料消費量 ・ 冷温水管 (● ロ ● 給水管 (● ロ ● 給水管 (● ロ ● 給水管 (● ロ ● 給水管 (● ロ ● 給湯管 (● ロ ● 常次合 (● ロ ● 常次管 (● ロ ● 常久うト (● ロ ● 常久 (● ロ ● 常次管 (● ロ ● 常数交換機の給気 (● ロ ● 常数交換機の給気 (● ロ ● 常数交換機の給気 (● ロ ● 常数交換の保護 ● 常数交換機の給気 (● ロ ● 常数交換機の給気 (● ロ ● 常数交換機の総式 (● ロ ● 常数交換の保護 ● 常告 ● 常数交換の保護 ● 常数交換の保護 <	易な表現及び内容とし、 ものとする。 ※ 出来る ● 根切土のなかの更 ● 山砂の類(● 真砂土 (● 構外に搬出 画基準 ひて指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計・施工指針2014年間 器の荷重 (kN)に、地域 設計用標準水平震度は2 機器種別 機機 器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 機器 防振設置機器 水槽類 ● 防災機器 品も地震力は水平地震力 の取出して表示された 等は、原則として図面に ックウウール ● グラス ックウール ● グラス ックウウール ● グラス ックウール ● グラス ックウール ● グラス ックウール ● グラス ックウール ● グラス ックウール ● グラス	 ・ 出: ・ 出: ・ 出: ・ は: ・ せ: ・ せ:<	建 <	業住宅の〇一〇の 常山外の管の周 「「「「「「「」」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」」 <td>一 の 一 御 は山砂 一 の し に よ る 場 所に る い (独)建 とする。 の た ・ (独)建 し こ る の に し 、 、 し 、 、 、 、 し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td> <td></td> <td>sun。 ()) () () () () () () () ()</td>	一 の 一 御 は山砂 一 の し に よ る 場 所に る い (独)建 とする。 の た ・ (独)建 し こ る の に し 、 、 し 、 、 、 、 し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		sun。 ()) () () () () () () () ()

		10 - 1 -			4 37	6-1-1 voi	
20 鋼管類の防食処置 21 絶縁継手	 地中埋設 ● ペトロラタム系 ● ブチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート ● 標準図(施工3) (● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート) 	12 ファンコイ	コイルユニット	 ※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。 (ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。) 		會材料	 (ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管
22 防振継手	 ○ 保平区(加工3) (○ (1) 心線 >) > > ○ (2) 心線 > - べ) ※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形(ステンレス製) 	13 9 277-	_	(イ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●	/ 排		
22 防振磁子 23 伸縮管継手	※	14 ダクト		(1) ビストンランハー ※ 医病復帰式 ● ※ ※ 低圧ダクト ● 高圧2ダクト	水 設		 ■)へ一宿官 (ウ)ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● HIVP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水鋼管用継手)
24) 塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)			● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法)	備		 (エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管
-	(ア) 埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く)			(長辺1500mmを超えるものはアングルフランジエ法とする。)			(才)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU (地中) ● REP-VU (地中)
魚凸	(イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面			● アングルフランジエ法			● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管
<u>их</u>	(ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分			● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。	2 満水	k試験継手	3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない
共	(エ) 亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類	15 吹出口・吸	吸込口	ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製	3 パイ	イプシャフト内配管の保温	※ 施工する ● 施工しない
通通	(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分	16 チャンバー	「一等	シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工47)を参考とする。	4 煙詰	式験	※ 行なわなくてもよい ● 図示の系統のみ行なう
*	(カ)カラー亜鉛鉄板面			接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。			
₽	(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面			線状吹出口には、(長さ+100)× 300 × 300日の接続チャンパーを設ける。	9 1 配管	會材料	● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管
項	(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面			外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。	給		● 保温付被覆銅管 ● 銅管
	(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管	17 消音内貼り	59	吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。	湯		湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
	 ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所()) 			内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。	│ 設 │ │ 備 │ ^{2 弁務}	頁	ж 5к • 10K
25 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322による拡管式とする。		키고 소가 모께 수 다	吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口(原則400×600)を取付ける。			
26 溶接配管の検査	 ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管 	18 瞬间流重音	計及び流量測定口 	形式はピトー管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式	1 配管	管材料	(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG
	非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)			 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	10		(イ) 土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
	抜 取 率 (●標準仕様書による ● %)			 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	10		 (ウ)屋外埋設配管 ● S G P - V S ● S T P G - V S
27 埋設表示	● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。			 ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	1 1 2 弁務	頁	ж 10K • 16K
	 ● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●) 			 ○ パーク くはぶく (Add and a control of a contro	│ 火 │ 設 │ ^{3 保温}	3	(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する
28 支持金物·固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。			 ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	備		(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する
	屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。	19 定周景・初	変風量ユニット	 エーット形空気調和(酸の) 「 温水入口 ● 瞬间 派 里 計 ● 潮 定 用 ダ ッ こ ン ク ● メカニカル形 ● 風速センサー形 			(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別 e 3 ・ (ハ) ・哑による)
23 総合試運転調整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。	20 温度計	<u> 久</u> 風重ユー ノ1	機器付属以外の温度計 ※工業用バイメタル式 ● ガード付∟形温度計			● 屋内消火栓用(※ 施工しない ●施工する) ● スプリンクラー用(※ 施工しない ●施工する)
	 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 	20 温度計	の空気抜き	愛羅内属以外の血浸剤 ※ エネ用バインシル式 ● カードドにル血浸剤 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。			● 連結送水用 (※ 施工しない ●施工する) ● 連結散水用 (※ 施工しない ●施工する)
	● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質 (● 一般飲料水適否検査 ●)			xx/a = y = x + x + y = 0 = x + x + y = 0 = x + x + y = x + x + x + x + x + x + x + x + x + x	4 屋内	內消火栓	● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号)
	 ◆ その他水質等(● 雑用水 ● 空調用流体 ●) 			※ 子助 ● 日勤 自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工36 (g))	5 ガス	へ系消火剤の種類	● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23
30 アスベスト含有建材の処理	建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。			機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。	6 ガス	< 系消火の起動方式	※ 手動 ● 自動手動切替式
	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	22 空調機用 ト	目トラップ	(((= 0)) (= 0)			
	建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲	22		材質及び厚さ ● SS400(※3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※1.5mm ● 2.0mm)		トガス設備	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
				煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける	2 配管	管材料	(ア)一般配管 ※ SGP(白)● 合成樹脂被覆鋼管
				煤じん量測定口(80 Ø × 2) ※ 取付ける ● 取付けない	11		(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
		24 オイルサー	+ービスタンク	油面計はゲージ式(側圧計)とする。			(ウ)屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管
		24 5 地下オイル 25 地下オイル		据付け方法 ● 標準図(施工30)(二重殻タンク・タンク室無し)● 標準図(施工31)(タンク室有り)	ガ 3 ガス	スメータ	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)
	※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び			タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト	ス		● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)
	清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。			基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)	設 4 バル	レク貯槽	● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取
	洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。			went A Hy C y (A Mourt) 土留め工事 ● 要 ● 不要	備 5 容器	暑廻りの配管	 ● 標準図(施工72)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c)
	 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 			タンクローリー用アース端子を設ける。	6 容器	器転倒防止	 ● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b)
 (31) 補修など 	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。	26 油面制御鉴	聊装置	油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●	7 ガス	ス漏れ警報器	● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)
 はつり 	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	27 フィルター		 ● 機器表特記による。 			
 33 はつり工事における非破壊検査 	探查方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査			 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 	12 1 処理	里種別及び方式	● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式
34 足場	足場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚労省 基発第0424001号平成21年4月24日)の	28 パッケーシ	-ジ空調機の能力表示	インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。	净		● その他性能評価を受けた方式(
	「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場	② 防振吊り及	し及び支持金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。			 ● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式)
	とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式	A 1 ダクト		※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製 (厚1.6mm)	- 化 2型式		 ユニット型 ・ 現場施工型 ・ ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	- 2 排煙口		形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形	槽 3 処理		 ● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m 3 / d m 3 / d
	油乳工事八血巛実吐止分生面短みず油筑工事史会佐工せ劣形私ち会老に工事史会社両書 をた成」既認時号に担山す Z	· 排 / / / / / / / / / / / / / / / / / /		取付け ● 天井取付 ● 壁取付	設 4 放済	氘水の水質	● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下
35 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。	設 3 排煙口開放	閉放及び復帰方式	電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要)			● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下
36 室内空気中の化学物質の濃度測定 (37) 火災保険等		□///II 4 排煙風量測	遣測定	建築設備定期検査業務基準書2016年版((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。	5 排水		※ 自然流下 ● ポンプ排水
57 大灾休陕寺	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期間は、工事完成引渡しまで「知ら工期」(21日)にする。	5 1 中央監視制	見制御盤装置	 ● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し 	- 6 埋戻	-	 ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 天売 ● 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
 38 グリーン購入	(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。) グリーン購入は次のもとのする。	5 自 2 電源装置		● 要(● 本工事 ● 別途工事) ● 不要		習め工事 レホールふた	 ● 不要 ● 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式)
50 ノウーン海人		動 3 温度調節器	市器等	取付高さ ※ 1 3 O O mm ● mm			 ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ホルト式) 3ヶ月相当分を納入する。
	 ● 三調用機器 ● 断熱材 () ● 配管材 (● 再生硬質塩化ビニル管) 	御 4 計装工事の	『の配線	● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。	2 /月毋	7/15	
	 ● 断款付 () ● 配官付 (● 再生硬員塩化ビール官) ● その他 () 	設		● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。			
39 鳥取県公共工事環境配慮指針	● その他 () 対象工事				-		
39 鳥取県公共工事項現配慮指町 40 建築物省エネ法	×↓⇒ 対象工事	6 ^{1 衛生器具の} 街	見の参考品番	型番変更により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考品番の同等品以上のものとする。			
		年 年 │ ² 大便器		※ 節水形 ● 標準形			
1 21 設計用温湿度条件	□	器 3 小便器		● 自動洗浄(●AC100V ● 乾電池 ●自己発電) ● 手動洗浄 ● 洗浄水量 4 リットル/回以下			
	外気条件 土 P3 (回型日保健) 小気条件 一 般 ()	→ 設 供 4 自動水栓	È	電源供給方式 ● AC100∨ ● 乾電池 ● 自己発電			
		備					
調和	(DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH)	5 和風便器の	その耐火処理	標準図(施工66)の(b)	-		
設備		1 量水器		● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示)			
1/用	文中 0 10 0 10 </td <td>/</td> <td></td> <td>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)</td> <td></td> <td></td> <td></td>	/		● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)			
		給 2 配管材料 水	4	(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316			
2 冷却水管	※ SGP (白) • SGP-VA • SGP-PA	·····································		 ● HIVP ● 架橋ポリエチレン管 			
3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP (白) • SGP-HVA • ステンレス鋼管 (SUS304)	備		 (イ) 土間配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316 			
暖	 ● 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る) 			(ウ)屋外埋設配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316			
┃ 房 4 膨張・空気抜・補給水管 設 ▲	※ SGP(白) ● ステンレス鋼管(SUS304)			 ● 水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下) 			
備 (5) 蒸気給気管	※ SGP (黒)			(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。			/鳥取県 /
6 蒸気還水管	※ STPG370-Sch40(黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304) ● SGP (黒)			(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)			
7 油・油用通気管	一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管			(力)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手			(令和4年度)
3 8 冷媒管	※ 断熱材被覆銅管	3 弁類		※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。			
换 9 空調用給水管 5	 ● ステンレス鋼管 ● SGP-PB (工業用水) 			 ● 5 K (受水槽以降の配管に使用) ● 10 K (公営水道に直結する配管に使用) 			J 2 2 0 0 6 5 4
□ ³¹ 10 空調用排水管 設 (供) 0 な () () () () () () () () () (※ SGP (白) ・ VP			公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			西部環境建築局
備 (1) 弁類	ж 5к ⊙ 10к	4 水槽のマン	マンホール	屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。	<u> </u>		HIP-A-JUCE - ALIA
エ 事 名	図名		縮	尺 管理建築士 査 図 担 作 図			▶ 株式会社 ティビィエム (ティビィエム環境設備設計事務所) 年月 2023.01
大山青年の家	家管理棟蒸気配管改修工事 機械設備工事特記仕様書	(2)			Z		鳥取県米子市目久美町34番地2 ☞ 鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所 03 12
		. .				IECHNICAL BUILDING MAINTENAN	—————————————————————————————————————
					1	管理建築十	一級建築士 第344020号(設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優 🖾 🖬 🗰 😽 🗸 🖉



















